

2019 年 8 月 1 日

AI・ロボティクスを活用して物流業界の省人化・生産性向上を目指す GROUND 株式会社への出資について

- ・ EC 市場の急成長による物流業界の人手不足という社会課題の解決に寄与
- ・ 最先端の AI・ロボティクスを導入し、物流オペレーションの省人化と生産性向上を実現
- ・ 国内外の物流企業と連携し、日本発のグローバルな物流ソリューションプロバイダを目指すことを支援

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、GROUND 株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：宮田啓友、以下「GROUND」）に対して、同社の事業展開を加速させるための成長資金として、10 億円を上限とする出資を行うことを決定し、同額の出資を実行しました。また、INCJに加えて、Sony Innovation Fund（ソニー株式会社）、サファイア第一号投資事業有限責任組合（サファイア第一号ファンド）^{*1}、JA 三井リース株式会社、IMM Investment Corp.、IMM Investment Group Japan 株式会社が同社に出資を行い、GROUND が当資金調達ラウンドで調達した資金総額は 17.1 億円となります。今回 GROUND が調達した資金は、物流ロボティクスおよび AI を活用したソリューション開発に充当される予定です。

物流業界は、電子商取引市場の急速な拡大によって、少量多頻度の輸送や季節の変化による物流量の変動など複雑化が進んでいます。加えて、少子高齢化を背景とした人手不足が深刻化しており、AI やロボティクスなどの最新のテクノロジーを駆使した業務の自動化や効率化を推進することが急務となっています。

GROUND は、事業会社で物流部門の責任者を務めた宮田社長が、最先端の AI・ロボティクスの導入による物流オペレーションの改革を目指して創業したベンチャー企業です。同社は、物流倉庫内だけでなく配送まで含めた物流バリューチェーン全体の生産性向上に寄与することを目指しています。

物流倉庫内業務には、荷下ろしや棚入れ・棚出し、梱包、出荷など様々な工程があり、労働集約型の業務が多く存在しています。GROUND は以下のソリューションを包括的に提供することで、最新のテクノロジーを最大限に生かした物流業務の最適化を図ります。

- ① 世界中から優れた最先端のロボティクスを選定・導入し、生産性を向上
- ② 高度な AI 分析によって、従来は人が判断していた商品の配置や従業員の動線を最適化し、コスト削減を実現

- ③ 商品の在庫管理や、倉庫内配置、商品情報などの物流データを蓄積してデータベースを構築し、物流業務の各工程における効率化を推進

INCJ は、GROUND の事業を通して、物流業界における省人化・生産性向上を促すことにより、人手不足などの社会課題の解決に寄与できると考え、同社への出資を決定しました。同社が提供するソリューションが、流通や物流、電子商取引事業者などに幅広く活用され、業務効率化の一助となることを期待しています。加えて、今後も電子商取引市場は世界中で益々拡大し、その市場規模は 4.9 兆 US ドル^{*2}にも上ると予測されるなか、GROUND が国内外の物流業界の大手・ベンチャー企業と連携し、日本発・グローバルな物流ソリューションプロバイダを目指すことを支援していきます。

^{*1} サファイア・キャピタル株式会社が運営するグロースファンド

^{*2} 経済産業省、平成 29 年度 我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）より

GROUND 株式会社について

設 立 : 2015 年 4 月

本 社 : 東京都江東区

代表者 : 代表取締役社長 宮田 啓友

事業内容 : テクノロジーを活用した物流ソリューションの提供

URL : <https://groundinc.co.jp/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話 : 03-5218-7202

【別紙】

新規支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 事業者名 : GROUND 株式会社
- ・ 設立 : 2015 年 4 月
- ・ 所在地 : 東京都江東区
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 宮田 啓友
- ・ 事業内容 : テクノロジーを活用した物流ソリューションの提供

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額 : 10 億円 (上限)
- ・ 実投資額 : 10 億円
- ・ 共同投資家 : Sony Innovation Fund (ソニー株式会社)、サファイア第一号投資事業有限責任組合(サファイア第一号ファンド)、JA 三井リース株式会社、IMM Investment Corp.、IMM Investment Group Japan 株式会社
- ・ 株式保有割合 : 非公表
- ・ 投資ストラクチャー図 : 別紙

3. 投資意義

<社会ニーズへの対応>

- ・ 近年の電子商取引市場の拡大によって、少量多頻度の輸送や季節の変化による物流量の変動など複雑化する物流分野において、AI やロボティクスなどを活用して効率化を図る。
- ・ 少子高齢化を背景とした労働力不足により物流業界の人手不足も深刻化する中、最新テクノロジーを活用した物流ソリューションの提供によって社会課題の解決に貢献。

<成長性>

- ・ 物流倉庫内だけでなく配送まで含めた物流業界のバリューチェーン全体にわたって効率化を図ることで、新たな付加価値の創出が見込まれる。
- ・ 日本発、グローバルに展開できる物流業界のオープンプラットフォームを開発。

<革新性>

- ・ 世界中から優れた最先端のロボティクスを選定・導入し生産性を向上。
- ・ 高度な AI 分析によって、従来は人が判断していた商品の配置や従業員の動線を最適化し、コスト削減を実現。
- ・ 商品の在庫管理や物流・商品データを蓄積してデータベースを構築し、物流業務の各工程における効率化を推進。

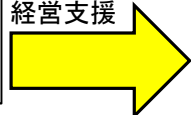
投資対象：GROUND株式会社

事業内容：物流オペレーション最適化ソリューションの開発・販売

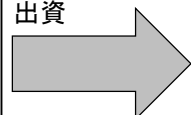
支援決定金額：10億円（上限）

支援決定公表日：2019年8月1日

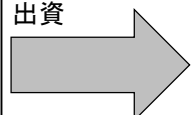
出資
社外取締役派遣
経営支援



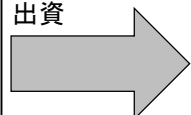
出資



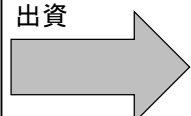
出資



出資



出資



GROUND株式会社



➤ 最先端AI/ロボティクステクノロジーを活用したオープン
物流プラットフォーム「Intelligent Logistics®」構築を目指す

物流オペレーションを最適化

倉庫内ロボットの開発・提供

自律型協働ロボット (AMR)



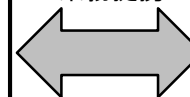
AIによる物流データ整備
および標準化モデルの
研究・開発・提供



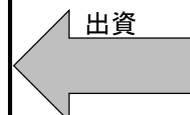
DyAS (Dynamic Allocation System)

DIA: 施設内在庫配置最適化
DRA: 施設内リソース最適化
DLA: 複数拠点間在庫最適化

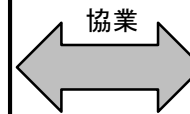
出資
業務提携



出資



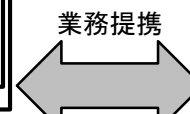
協業



共同開発



業務提携



- ・ EC市場の急成長により物流業界の人手不足は深刻かつ喫緊の社会課題
- ・ 同社が提唱するオープン物流プラットフォーム「Intelligent Logistics®」は、最先端AI/ロボティクステクノロジーの導入により物流オペレーションの抜本的な省人化と生産性向上を実現する
- ・ 国内外の物流業界の大手・ベンチャー企業と連携し、日本発・グローバルな物流ソリューションプロバイダの創出を支援する